

平成２２年度 第１回 石狩市環境審議会 議事録

- 日 時 平成２２年９月１４日（木） 午前１０時００分～１２時２５分
- 場 所 石狩市役所 ３階 庁議室
- 案 件 会長選任について
石狩市環境基本計画の改定について（継続審議）
平成２１年度石狩市廃棄物処理実績について
バイオマスエネルギーに係る詳細ビジョン策定調査について
北石狩衛生センター運営検討会議の設置について
石狩市一般廃棄物処理基本計画策定方針（案）について その他

- 出席者 石狩市環境審議会
会 長 長谷部 清 副会長 近 藤 哲 也
委 員 越 智 一 委 員 熊 谷 テルヨ
" 野 昭 夫 " 藤 井 重 行

事務局

市民生活部長 唐 澤 治 夫
環境室長 有 田 英 之
ごみ対策課長 廣 長 秀 和
低炭素社会推進担当参事 藤 岡 修 一
環境保全担当主査 鍋 谷 英 幸
環境保全担当 前 野 加代理
日本データーサービス株式会社 企画部課長代理 山 下 昌 彦

- 傍 聴 １名

事務局（有 田） 定刻前ですが、みなさんお揃いですので石狩市環境審議会を開催します。宇土澤会長、座主さんがこの３月で退任され、現在、審議委員は９名です。今日は、江丸さん、小野寺さん、柴田さんが都合により欠席ということで、６名で開催します。

それでは、副会長の長谷部先生から今日の会議を進めていただきたいと思います。お願いいたします。

長谷部 副会長 おはようございます。会長が退任され、私、副会長の長谷部が仰せつかっておりますので、よろしくお願いします。

議題は、次第のとおりです。では、事務局からお願いします。

事務局（有 田） では、議題１です。宇土澤先生が退任され、会長が不在となっておりますので、来年６月までの残りの任期の会長を新たに選任ということで進めたいと思います。自薦、他薦を問わず、お願いします。

野 委 員 私からは、長谷部先生に会長を、副会長は近藤先生にお願いできればと提案させていただきます。

事務局（有 田） みなさんどうでしょうか。よろしいですか？

（異議なしの声あり）

事務局（有 田） それでは、会長を長谷部委員、副会長を近藤委員にお願いします。以後の進行について、長谷部会長、よろしくお願いします。

長谷部 会 長 ただ今、みなさんのご賛同いただきました。荷が重いとは思いますが、みなさんのご協力をいただき、全うさせていただきたいと思います。

では、議題２「石狩市環境基本計画の改定について（継続審議）」、事務局から説明をお願いします。

事務局（有 田） 資料「仮称：第２次環境基本計画（案）」について説明

長谷部 会 長 それでは、お気づきの点や質疑等ありましたらお願いします。

近 藤 副会長 第１次の環境基本計画は、いつ策定したのですか？

事務局（有 田） 平成１３年です。丸９年が経ち、現在１０年目です。

長谷部 会 長 非常に盛りだくさんの内容なので、大変だと思いますが・・・

近 藤 副会長 １次の際に、市民アンケートを実施しましたか？しているなら、平成１７年度と比べて変化などありましたか？

事務局（有 田） １次のときにアンケートは実施しましたが、平成１７年度との比較はしていません。今回の改定の大きな要素は、地球温暖化問題が際立ってきたことと合併により市域が６倍になったことが大きいです。平成１７年度のアンケートは、合併後に実施したのですが、厚田区、浜益区の住民の意見もかなり反映されています。改定案で成果の指標として、例示していますが、数値目標としては難しいが、市民の意見・印象を比較できるようなものも検討していきたい。

近 藤 副会長 数値だと客観的な事実で比較しやすいが、その数値に対して市民がどのように反応しているのか、興味がありますね。

事務局（有 田） アンケートの設問項目をある程度固定して、市民の印象がどう変わっていくのか検証してみるのも良いかと思います。今後の参考とさせていただきます。

熊 谷 委 員 月２、３回、はまなすの丘を散策しているのですが、その度にごみ袋を持って、たくさん拾ってきます。おそらく、海とか川の上流から流れてきたと思われるものがたくさんあるのですが、流れてきたものはごみになりますよね。道の広報などに働きかけて、上流の人に広報してもらって、捨てるのをやめてもらったらいいのではないかなと思うのですが。あと、灯籠流しがたくさん流れ着いていましたので、そういうのも上流の方で処分してもらえたらいいなと思います。

事務局（有 田） ごみの処分は難しいかと思いますが、流さないようにという上流方面への啓発は非常に重要ですね。

これまでも、石狩川サミットなど、流域市町村の首長が集まる場で申し入れなどしているんですけど、さらに強く各自治体に向けて発信する必要があるということですね。

長谷部 会 長 Ｐ２０のゴルフ場のデータですが、いつのもののかの年の表記が必要では？

事務局（有 田） 表自体は、２１年度版の環境白書の平成２０年度の結果です。他の表全般にも言えるのですが、統一されていない部分がありますので、それについては精査いたします。ゴルフ場に関しては、２０年度の調査結果だけですので、表として載せるか、ゴルフ場を調査してからの過去の経緯も含めて、言葉として文章で表現することも考えています。

長谷部 会 長 Ｐ２１の４行目、地盤沈下の文章は、「また、これまで市内での地盤沈下の被害は」が良いのでは。そういう部分が２、３見受けられます。

Ｐ２８の一番上。「国の、北海道を」は「国及び北海道を」かなと。

Ｐ２９の 事業者部門では、「さらに事業規模に応じて」が正しい。

Ｐ３２の市民アンケート表ですが、「花川等」や「生振等」というのは、どこの場所を指しているのですか？

近 藤 副会長 長くても記述した方がいいですね。「等」とは、「周辺」という意味ですか？

事務局（有 田） どの地区を指すのか、注釈なりで全部表現するようにします。

長谷部 会 長 P 4 8 の大気汚染の防止の中で、「ごみの焼却や野焼きはしません」と、P 4 9 の適切な廃水対策の推進の「家庭からの使用済み油や大量の洗剤を流しません」という表現ですが、「～しません。」というのとはなじまないのではないですか？

他の文章が、「進めます」とか「努めます」、「図ります」なので、「防止に取り組みます」とかに変えた方が、読む人にとってはいいのではないのでしょうか。

野 委 員 P 2 7 の不法投棄の関係で、札幌市のごみ有料化がH 2 1年度からですね。それ以降、周辺の不法投棄の関係はこれまでの流れから変わっていないのでしょうか？札幌市の有料化を境に、大きく変わっているのではないかと。要するに今後10年をみていく時に、その要因を意識しておいたほうがいいのではないのでしょうか？

事務局（有 田） 札幌市の有料化に伴って不法投棄が増えたということはありません。

野 委 員 目標設定の中で、事業系ごみの関係ですから、P 6 2 の成果指標の設定の方向、事業系ごみは過去増えていますよと。だけど、事業規模の拡大や事業者数の増加による要因があるので、一概には言えませんという注釈がついて書いてあるんですけど、例えば、総量を抑制するのは当然なんだろうけど、1事業者あたりの規模に換算するとどうかなど、サブ的な指標として設定してはどうでしょうか？

事務局（有 田） 現在、ごみ減量化計画は、24年までですが。あわせて今年から来年にかけてごみ処理基本計画も見直しに入りました。そういった中で、従来の総量でいくのか、1企業単位でいくのか、1人当たりでいくのか、企業だと大小があるので出荷額でいくのかという指標も検討していく必要があると思っています。ただ、環境基本計画の中では、そこまで詳細なところまでは詰めません。総合的な施策の中で触れているものについては、数値目標を掲げるのは難しい。具体的な実施計画を作っていく中で掲げていきたい。ここでは既に計画ができていて目標値があるので、ここに載せておりますけど、基本計画の中でごみの目標値を設定できるかということと中々そうはならないのかなと。

長谷部 会 長 今の話はP 2 5 と連動しているのではないかと思いますのですが、囲いの中の文章で事業系ごみ減量目標の達成が必要ですよと書いてあるけど、その原因が何かということに触れておけば、総量が増えたのは事業数が増えたのか、事業者数は変わらないけど規模が大きな大手の企業がたくさん出したのでこういう結果になったとか、将来に向けての展望が一言触れられていると、読む人が理解できる。

野 委 員 産業界全体が努力していないというような表現はどうか。

事務局（有 田） 現計画を作ったときには、これから個別計画を作る段階でしたので、全を一括して基本計画で目標値を決めていることから、改定計画では、それぞれの個別計画で具体的な目標値については移していこうと考えています。基本計画においては、ご指摘の点も十分に説明できるよう記述するようにいたします。

野 委 員 マスタープランは、かなり大きな分野の方向性を考慮しなくてはいけないのかなと思います。P 1 6 の「自然環境保全の課題」で、後段の方に「森林の持つ多様な機能を健全に保全していくため」と一括でくくっているんですが、最近、外国資本が森林資源を買っていくケースがかなり増えています。まだ、石狩は無いとは思いますが、全道の商工会議所の会議では羊蹄山麓、富良野周辺において、かなりの速度で外国資本の買収が進んでいます。その狙いは森林資源だけでなく、地下資源、水資源をターゲットにしていると聞いています。その対応は非常に遅れていて、その原因のひとつが森林の現況実態把握調査が2年に1度くらいの頻度でしか実施されていないからと聞いている。気付いたときには、所有者が大きく変わっているという可能性があ

ります。法整備、関係機関への要請もありますが、最低限、実態把握の精度を高めるのが必要ではないかと思います。特に石狩の場合は合併して7割以上が森林地域で、民有林もかなりあると思います。そういう問題に対する対処、気配りみたいなことも必要になってくるのかと思います。それを基本計画にどのように記述すべきか、わかりませんが気になりました。今後、コントロールができなくなる可能性がありますので。

近 藤 副会長 本州のほうでもどんどん外国資本が買い取っている。その人は水と同様に森林そのもの、つまり炭素貯蔵のために投資していると言っていました。排出権取引とか・・・ありえるかもしれないですね。

長谷部 会 長 自然保護との絡みで、計画の中で一言くらい触れておいたほうがいいかもしれませんね。

野 委 員 こまめに実態を把握する必要はあると思います。

近 藤 副会長 例えば、道有林、民有林、まあ私有林でもいいんですけど、道有林と国有林それから私有林。私有林の中でも外国資本と日本保有みたいな形で。

事務局(有 田) どういう形が把握できるか、林業担当とも協議します。

長谷部 会 長 では、時間も押し迫っているので、議題1は終わります。

(休 憩)

長谷部 会 長 それでは、始めます。議題3「平成21年度石狩市廃棄物処理実績について」の説明を事務局からお願いします。

事務局(廣 長) 資料「平成21年度石狩市廃棄物処理実績」の説明

長谷部 会 長 ご質問等はありませんか？

越 智 委 員 P9のボランティア清掃ですが、23団体、延べ3,861人の中に町内会は入っているのですか？

事務局(廣 長) 春と秋のクリーン作戦と町内会は除いています。

近 藤 副会長 P9のし尿・浄化槽汚泥ですが、図4は人口との関係、対応があるのですか？

事務局(廣 長) 人口は横ばいなんですよ。

事務局(有 田) 厚田で合併浄化槽が増えています。

事務局(藤 岡) 八幡地区は、水洗化されていますから、し尿の汲み取り量はだんだん減っていきますよね。

近 藤 副会長 これは、センターでの処理量ですね？

事務局(廣 長) 浄化槽汚泥は、1軒当たりの汲み取り量が増えているかと。

近 藤 副会長 H19年以降減っているのは？

事務局(廣 長) 八幡地区が水洗化になったということです。

近 藤 副会長 し尿処理というのは、汲み取り式のものだけなんですか？

事務局(廣 長) 簡易水洗と一般的に言われているものも入ります。

事務局(有 田) 貯水タンクの大きいのが下に入っていて、少量の水で流すスタイルが簡易水洗です。下水管につながってなくて、単にタンクに貯めているだけなんですね。し尿のほかに、流す水が加わるので、汲み取り量としては増えるんですね。表の黒い部分は汚泥の量で、17年と比べて18年以降が多いのは、厚田区では補助を受けて合併浄化槽を整備したからです。

ただし、汚泥は残ります。それがグラフの色の付いている部分です。合併浄化槽が増えれば、古い汚泥を汲み取る量が増え、下水化されたところは、汲み取りをやめていくので、減るということです。

野 委 員 増減した要因について P 2 の家庭ごみの関係では書いてますが、他ではその理由は書かないのか？

事務局（廣 長） 今後、検討します。

長谷部 副会長 他に質問が無ければこれで終わります。次の議題 4 は最後にしまして、議題 5 「北石狩衛生センター運営検討会議」、議題 6 「石狩市一般廃棄物処理基本計画策定方針（案）」の説明を事務局からお願いします。

事務局（藤 岡） 資料、「北石狩衛生センター運営検討会議」「石狩市一般廃棄物処理基本計画策定方針（案）」の説明

長谷部 会 長 ご質問等がありますか？なければ最後の議題の説明を事務局からお願いします。

事務局（有 田） 資料「バイオマスエネルギーに係る詳細ビジョン策定調査概要」説明

長谷部 会 長 ご質問ありましたらどうぞ。

長谷部 会 長 採算性がちゃんと取れるような形に持っていけるといいと思うのですが。

近 藤 副会長 学会でペレットストーブの L C C（Life cycle cost：製品などの調達・製造～使用～廃棄の段階をトータルして考えた、C O 2 の排出量）についての発表がわりとあるんですが、確かにペレットを使った方がいいんだけど普及しない。なぜかという、高い。ストーブが高いのと設置するための工事費がかかる。これがいいと分かって、それが普及する段階になると、話が別になってくる面もあるのかかもしれないと思いました。

長谷部 会 長 どこまで投資して、どれだけの規模の大きさにするかを調査するのか。

事務局（有 田） 今、考えているのは、石狩湾新港に天然ガスの貯蔵基地が建設されており、今後、札幌などに都市ガスをパイプラインで供給することから、そうしたインフラを活用して、バイオマスガスを供給できないかというようなことなどを検討していきたい。

長谷部 会 長 計画が、とんとん進んで、来年春先には日の目を見るといいですね。

事務局（有 田） どうすれば実現可能かということを調査して、市が直接この事業をやるわけではなく、スポンサーを探すことを考えています。

長谷部 会 長 では、他になにかありますか？

事務局（有 田） 事務局から報告します。

環境白書については、前年度、最後の審議会でご報告し、修正を加えたものを遅ればせながら配布しました。

もう 1 つは、銭函風力発電関係の環境影響評価（案）概要についてですが、小樽市銭函地区で風力発電を 1 5 基建設する計画が進められており、9 月 1 0 日から 1 0 月 1 2 日まで、小樽、札幌、石狩で評価書（案）を縦覧しています。石狩は環境課のカウンターで縦覧しています。

内容のご説明はいたしません縦覧のご報告です。

長谷部 会 長 以上です。よろしいですか？次回の予定は？

事務局（有 田） 次回の環境審議会を 1 1 月中に 2 回目の審議会を予定しています。

今回の環境基本計画案は 5 0 % 程度の出来ということでご報告をいたしました、次回はさらに内容を詰めて、ご審議をいただきたいと思います。

長谷部 会 長 長時間に渡ってご議論いただきまして、ありがとうございました。

上記、議事録を確認しました。

平成 2 2 年 9 月 2 9 日

石狩市環境審議会 会長 長谷部 清